

抵抗力を誘導し、茶を遅くする

日本の茶園面積の70%以上で栽培されている品種「やぶきた」は病害虫に弱い。もちろん適期防除も重要ですが、それは適切な管理があってこそ生きるものです。まずは誘引原因となる過剰施肥に注意。適切な管理と「アグリボ EX」がもたらす抵抗力誘導の力で、より強い樹にして減収要因を減らし、安定した収穫を目指そう！



※ これらの時期に「アグリボ EX」を使用しても、薬害や茶葉の成分・品質への影響を生じないことが、独立行政法人 野菜茶業研究所の試験で確認されています。

霜害対策に、ヤワラ！

茶は、霜害などの障害が出ないようにしたいもの。「アグリボ EX」に、トレハロース(展着促進材)入りカルシウム剤「ヤワラ」を加用し、温度ストレスに強い樹にしておきましょう。(ヤワラは1,000倍に希釈して使用してください。)

安心して使用できます。

「アグリボ EX」と「ヤワラ」はともに登録肥料であり、また極めて人畜・環境に対する安全性が高く、茶の栽培で非常に気になる散布時の近隣の茶園へのドリフトによる問題もありません。

天候不順が予想される場合、「アグリボ EX」の代わりに“光触媒”入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボ EX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、“展着促進材”(界面活性剤・トレハロース)入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ
ご相談 **0120-187-183** 相談室

AGREVO

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328